

## 個人面接への対応について

### 【個人面接とは】

個人面接は、高校の調査書や小論文ではわからない受験生の態度や考え方を評価する場です。

### 【評価内容】

それではどんなことを評価するのでしょうか。

それは私たちが教育したい人材の条件を満たしているかどうかを評価します。

それではどんな条件を評価するのでしょうか。

その条件こそ、アドミッション・ポリシーなのです。

私たちのアドミッション・ポリシーとは、

1. 入学目的が明確で、生命に対する適切な倫理観を持ち、入学後も生涯にわたり自己学習を継続する意欲と情熱を有している。〈関心・意欲・態度〉
2. 柔軟性と協調性を有し、周囲の人と良好な関係を保つことができる基本的なコミュニケーション力を有している。〈技能、思考・判断・表現〉
3. 基礎学力が体系的に身につけており、大学入学後の学習に必要な学力を有している。〈知識・理解、技能、思考・判断・表現〉
4. 旺盛な知的好奇心と探究心を持ち、自ら問題を発見し、解決に取り組むことができる資質を有している。〈思考・判断・表現、関心・意欲・態度〉
5. 地域・社会への貢献を志し、奉仕する使命感を有している。〈関心・意欲・態度〉
6. 医療を通じて国際活動を行う意欲を有している。〈関心・意欲・態度〉

です。

個人面接は、アドミッション・ポリシーに関連したことや生活態度などについて質問します。

例えば：

- この受験生は、生命科学や医学に関心をもっているだろうか？

Q1 「医学に関する最近のニュースで気になることはありますか？」

Q2 「iPS細胞って聞いたことありますか？」

- この受験生の倫理観、協調性、コミュニケーション能力はどうだろうか？

Q3 「何かボランティア活動をしたことがありますか？」

Q4 「患者さんから信頼を得られるにはどうしたらよいだろうか？」

Q5 「お年寄りとどんな会話をしたことがありますか？」

Q6 「団体行動する時は、あなたはどんな役回りをしますか？」

● この受験生は真面目に勉強するだろうか？

Q7 「不得意科目を克服するためにどんなことをしましたか？」

Q8 「一日の、または一週間の勉強計画を教えてください。」

Q9 「好きな科目は何ですか？なぜそれが好きなのですか？」

● 奉仕する使命感がある受験生だろうか？

Q10 「どんな歯科医師になりたいのですか？」

Q11 「どんな人間になりたいのですか？」

Q12 「なぜ歯科医師になりたいのですか？」

Q13 「最近あなたが感動したことを教えてください。」

このような点を心掛けながら質問しますが、もちろん身なりや態度もチェックします。

しかし、私たちが最も注意するのは、受験生の意欲です。歯科医師になりたいという熱意です。緊張するのは当たり前ですから気にしなくて結構です。それよりも意欲を忘れずに面接に臨んでください。